



辻川だより

第18号 [2011 夏号] 平成23年7月2日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原 1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ <http://www10.plala.or.jp/tujikawa/>



5月8日 元登記所跡の八重桜

5月8日、元登記所跡の八重桜が満開を迎えています。この桜は、昭和10年に八重桜の苗木を植えつけ、翌年から咲き始めたとされています。現在は、桜の下のスペースに、元登記所の跡をしのいで、市民の憩いの場として整備されています。

被災と行事の自粛

区長 釜坂道弘

このたびの東日本大震災によって多くの方が亡くなられ、また被災地においては、今なお行方不明の方々の捜索が続く、また避難所では多くの方が不安と不自由な生活を余儀なくされていることに胸が痛みます。

このような状況下ですら、被災地以外においても伝統的な行事、文化活動を自粛するという動きがあることも理解できます。

とはいえ、このような文化活動が本来私たちの心に安らぎと力を与え、地域の絆を強め、明日への希望を与えてくれるものであるから、その自粛は社会全体の活力にこそ好ましいものとは言えません。

このような観点から、今年の辻川界隈展・民俗学の夕べは被災された方々に心をよせつつ、いろいろな事情を考慮しながらも、文化に親しむ活動を積極的に行うことにより、日本の力強い復興を地方から応援する機会にしたいと思っております。

3月11日、東北地方太平洋沖地震による東日本大震災を私たちは忘れない。

大切なことは関心を持ち続けること、その時々に行える行動をとること。そして、福

崎辻川にも当てはまる教訓を吸収し、

仕組みをつくり訓練を実施すること。

今後、復旧復興には十年二十年の

歳月がかかる。余

震も続く。ともに

学びたい。

協議員会は今

4～6月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。

① 辻川山手入れを七月に計画

② 3/6防災マップ作成のため

のまち歩き集計結果とマップ

報告→マップは町へ提出。

次回は使用可能な井戸調査を、

③ 界隈展・民俗学の夕べの内容

検討。七夕飾りは吊り灯籠と

短冊のみに。同時開催の辻川

場まつりとの調整も必要。

④ 人権・青少年健全育成懇談会

は11月26日(土)実施予定

⑤ 辻川区が平成23年度交通

安全モデル地区指定。事業実

施計画策定。事業は7月祈願

祭から年末まで継続する。

⑥ 防犯灯設置箇所調査結果

⑦ 今年度敬老会対象年齢は七十四歳

以上。文殊荘は今年も申込みない。

山口堂建設委員会報告

第一回会合(5/1)から

◇山口堂・大日堂ともに今ある

形のお堂を同位置に新築再建

◇建築材はひのきを使用

◇来年度初総会で詳細な建設計

画を報告し、工事は来年度に

お知らせ『墓地の募集について』

辻川葉師山霊園(空区画)について募集

しています。応募される方は役員まで。

一、辻川区在住の方に限ります。

二、永代使用料…二五万円。但し、区画の

両端など面積により異なります。

三、募集区画数…七区画 「一隣保 小谷」

《当面の予定》

7/3(日) 辻川山の手入れ

7/10(日) 交通安全祈願祭

とパレード(夏えびす神事後)

7/31(日) クリーン作戦

7/31～8/7 辻川界隈展

文芸作品展示(三木家住宅保存修

理工事のため公民館も使用)

隣保灯籠飾り付け・吊り下げ

8/6(土) 民俗学の夕べ

午後5:00～夜店(会団体予定)

6:30開演 6:40吹奏楽演奏

6:55キッズダンス&ゆうゆうバンド

7:25猿まわし 7:55寄せ太鼓

8:00エイサー 8:30秋田大黒舞

8:55播磨の田植え踊り

9:00 辻川鬼太鼓 9:30閉演

福崎町では8月6・7日に町制55周

年記念事業として、柳田國男50年祭と

第5回民俗辻川広場まつりを計画してい

る。特に6日の広場まつりは午後9時ま

で、民俗学の夕べと並行して行われる。

8月中旬 親善ソフトボール大会

9月 隣保長・各種団体会議

祭礼行事のお知らせ

◇ 7月10日(日) 夏えびす

10時に神主様お祓(はら)い

その後、交通安全祈願祭等あり

◇ 7月17日(日) 夏まつり

10時に神主様お祓い

(井ノ口の役員さんも参列)

皆様お誘い合わせの上、お詣

りください。[十一隣保 伊藤]

事業報告

◆ 4月2日(土)

隣保長・各種団体役員会議

① 新年度各種団体役員紹介

② 防犯灯設置箇所の調査依頼

③ 商工部会より辻川山ふれあい

広場の夜桜ライトアップ案内

④ 消防OB会より公民館前に

ベンチ2基寄贈、鈴の森神社

のベンチ3基も板張替え等

◆ 5月15日(日) 溝普請

溝をつじ日和に恵まれた。3

月の隣保長さんによる防災まち

歩きを受け「水の出やすい」水

路の点検はできただろうか。同

日、雲津川(協議員)や上井用

水(農家)の清掃も行われた。

田原校区子供会 球技大会の

▽ソフトボール(男子) 4位

1回戦 0-7 6 対中島

準決勝 1-11 11 対大門

3位決定戦 3-10 10 対田尻

敢闘賞を受賞。おめでとう。

▽バレーボール(女子) 3位

初戦 0-2 10 対西野

第2試合 1-2 2 対田尻

第3試合 0-2 2 対中島

3位決定戦 0-2 1 対長目八反田

見事3位に輝く。福崎町大会へ。



消防OB会製作のベンチ(公民館前)

屋台保存会より

昨年度、秋祭り終了後行った屋台本体の総点検を踏まえ、5月14日、区三役、青年団、保存委員が一同に会し、保存委員会が開かれた。その結果、今年の祭りに向けて「屋根隅の角の修理」「風提灯金具の修理」「夜提灯の新調」の3点が決定された。なお、さらに青年団から要望があった「布団屋根の生地新調」「照明器具のLEDへの全面交換」については、来年度の予定工事として承認された。

各種団体

新役員の抱負

上延英一（農業部会長）：辻川では農家も少なくなりましたが、それだけに水や農地の管理には地元の協力が不可欠です。「意見を寄せたいです。」

大震災では日常的な消防団活動の重要性が再認識されました。辻川分団22名、有事に際し規律ある行動ができるように、普段から訓練に努めていきたいと思っています。

田崎浩文（青年団長）：今年も村の行事に積極的に参加していきます、また祭りにも力を入れて頑張りたいと思っています。

公民館での催し案内

今、公民館で行われている区民対象の催しを紹介します。よろしければ一度顔を出してみてください。お待ちしています。

ふわあい喫茶

実施日 毎月第3金曜日
10時～11時30分
世話人 辻川マカヅナ、ユージ
参加者 50代以上約40名
〔男女比：1対4〕
区民であれば誰でも



ミニサイバース

実施日 毎月第3月曜日
10時～15時
世話人 民生委員・協力委員
参加者 六五歳以上平均26名〔男女比：1対4〕



ふんつうの会

実施日 毎週金曜日
13時30分～15時
世話人 民生委員・協力委員
福祉委員



内容：血圧測定、みんなの体操、頭の体操、歌、ゲーム、手工芸出前講座、施設見学等
楽しいこと：ゲームの時はここの一番の底力発揮。苦手な手芸も完成した時の笑顔。
年に2回ほど公民館を出て町内外の施設見学を企画、この時が一番楽しみのよう。ボランティアグループ手作りの昼食・おやつも最高。

悩み：できるだけ皆が楽しめることを取り入れたいのですが、なかなか考えが及びません。



火災を免れた松岡源之助氏胸像
今は田原小学校の西玄関にある

ド商品であり、何か宝ものを買ったような嬉しさであった。^{〔注〕}と話しています。
あの木造の大講堂は、記憶のある人には、木の匂いととも懐かしい思い出となっています。

牛尾壽郎氏^{〔注〕}による『奮闘の偉人松岡源之助氏略歴』は、松岡源之助の恩に感謝するものとして発行されたのでした。
^{〔注〕} 中村健自叙伝「バリの男」
^{〔注〕} 講堂建築当時の田原村長

7 松岡源之助と辻川

鈴ノ森神社の玉垣に みる昔の辻川の賑わい

辻川は松岡源之助の生まれたところ。その生家は取壊されて、今は他の人の住まいになっていますが、源之助には、辻川がふるさとであるとの意識は、常にありました。

それが、鈴ノ森神社の大玉垣になってあらわれています。神社への坂を上りきったところ、山の口堂への参道の入口には、「北海道 松岡源之助」と彫った大玉垣があり、また、神社正面の狛犬も源之助の寄進にかかっているもの。

もうひとつのあらわれは、辻川から多くの人が北海道に渡っていることです。鈴ノ森神社の玉垣を見ただけでも、大玉垣に「北海道 松岡宗次」がありますし、その他、「北海道 松岡百之助」「北海道 松岡為次郎」「北海道 鈴木大吉」「北海道 松岡勘蔵」と

辻川山公園の清掃ボランティア活動に参加してみませんか！

辻川区民の参加が少なく、地元だけに少し残念な状況です。奮ってご参加ください。
第3回：8月27日午前9時
第4回：10月15日午前9時

編集後記

岩手県内陸部の遠野市が海岸部被災地の後方支援の拠点となっている。災害は個人の宅地や行政の境界を越えて発生する。それに対して行政のネットワークや支援の体制をつくり備えていた遠野市や「友好都市」として即行動した福崎町に震災から立ち上がる住民支援のあり方を見る「田崎」。